

Library News!

発行：金沢市立紫錦台中学校図書館

2020年11月

さあ、あなたも図書館へ。

冷たい空気を感じる季節になりましたね。体調を崩さないよう、気をつけて過ごしたいものです。さて、図書館には色々な種類の本があります。好きな作家の本を読む、教科書に紹介されている本(図書館に入って右、郷土資料のとなりにあります)を読んでみる、本だなを何気なく眺めて気になった本を借りてみる…等、自分なりの図書館の使い方を試してみませんか？今月の図書館には楽しい仕掛けもありますよ。

さあ、あなたも Go To Library!

★★図書委員会企画★★

Go To Library! 福bookろ ゲットだぜ!!



読書の秋です。「たくさんの人に図書館へ来てもらいたい！」という思いを込めて、図書委員会が本の福袋を準備しました。福袋には図書委員がおススメの本が入っています。「謎解きが好きな人に」「ドキドキしたい人に」「星が好きな人に」など、いろいろな種類の福袋があります。「これ！」と思うものを、袋ごとカウンターに持って行って借りて下さい。

知らない本に出会えるチャンス！ぜひ、たくさん借りて下さいね



「小川糸まつり」も開催中!

この本、どうでしょう?

『靴を売るシンデレラ』 ジョーン・パワー/著

天才的センスで靴を売るアメリカの高校生ジョナ。夏休み、アルバイト先の社長の運転手になる。思いがけないドライブの末、店はどうなるのか。そしてジョナはどう変わるのか。



『車夫』いとうみく/著

スカイツリーを仰ぎ見る浅草を舞台に、車夫の世界に飛び込んだ少年と周囲のあたたかなふれあいを描く連作短編集。2巻も所蔵。



『ミ・ト・ン』小川糸/著

モデルは北欧の国ラトビア。マリカは、編み物より走り回る方が好きな女の子だ。波乱に満ちた人生の中、彼女のそばにはいつも美しいミトンがあった。悲しい現実を生きる人間の愛すべき物語。



秋の読書に

古典はいかが?



みなさん知っていますか？11月1日は、「古典の日」と定められています！

これは寛弘5(1008)年11月1日、『紫式部日記』に源氏物語のことが初めて記録されたことに由来します。国語で学習する古典作品の他、百人一首や落語、金沢で盛んな能や狂言など、古典は身近な存在と言えますね。

図書館には、古典についていろいろな視点から書かれた本があります。面白い本に出会えるかもしれませんよ。



『枕草子いとめでたし』

「うれしきもの」「ねたきもの」「おそろしきもの」等「わかる〜!」と思わず共感。



『古典の裏』

源氏物語で一番あざといのは誰?かぐや姫が地球に来た理由は?裏話がわかる古典エンタテインメントエッセイ。



『野村萬斎の狂言』

狂言の型や歴史だけでなく、「僕が狂言師になるまで」のページも面白い。

本は新しい自分への扉